

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第2区分
 【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2016-181550(P2016-181550A)
 【公開日】平成28年10月13日(2016.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報2016-059
 【出願番号】特願2015-59747(P2015-59747)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 33/50 (2010.01)
 C 0 9 K 11/08 (2006.01)
 C 0 9 K 11/64 (2006.01)
 C 0 9 K 11/61 (2006.01)
 F 2 1 S 2/00 (2016.01)
 F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【 F I 】

H 0 1 L 33/00 4 1 0
 C 0 9 K 11/08 J
 C 0 9 K 11/64 C P M
 C 0 9 K 11/61 C P F
 F 2 1 S 2/00 4 8 2
 F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】
 【提出日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

緑色蛍光体と赤色蛍光体を含み、且つ、紫色光を放射する半導体発光素子と青色光を放射する半導体発光素子とを含む発光装置であって、

該緑色蛍光体は、該紫色光を放射する半導体発光素子から放出される、380以上、430nm以下の波長を有する紫色光を照射することにより、490nm以上、530nm以下の範囲に発光ピーク波長を有し、

該赤色蛍光体は、青色光を放射する半導体発光素子から放出される430nm以上、470nm以下の波長を有する青色光を照射することにより、600nm以上、650nm以下の範囲に発光ピーク波長を有し、且つ該発光スペクトルの半値幅は20nm以下であることを特徴とする、発光装置。

【請求項2】

前記緑色蛍光体が、アルミン酸系蛍光体であることを特徴とする、請求項1に記載の発光装置。

【請求項3】

前記緑色蛍光体が、EuおよびMn賦活アルミン酸系蛍光体であることを特徴とする、請求項2に記載の発光装置。

【請求項4】

前記赤色蛍光体が、Mn⁴⁺付活フッ化物蛍光体であることを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項に記載の発光装置。

【請求項5】

前記緑色蛍光体が、 $BaMgAl_{10}O_{17}:(Eu, Mn)$ であり、前記赤色蛍光体が、 $K_2SiF_6:Mn$ 、 $K_2TiF_6:Mn$ 、 $K_2(Si, Ti)F_6:Mn$ 、 $K_3AlF_6:Mn$ 、および $K_2Si_{1-x}Na_xAl_xF_6:Mn$ ($0 < x < 1$)から選ばれるいずれか1つ以上であることを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の発光装置。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載の発光装置を光源として含むことを特徴とする画像表示装置。

【請求項7】

BT.2020に対するカバー率が80%以上であることを特徴とする、請求項6に記載の画像表示装置。

【請求項8】

請求項1～5のいずれか1項に記載の発光装置を光源として含むことを特徴とする照明装置。